

日本外傷データバンクへの外傷患者登録と登録データを用いた臨床研究

1. 研究の対象

2016年7月11日～2020年3月31日に当院救命救急センターに入院された外傷患者様

2. 研究目的・方法

研究目的：

外傷は子供や若年層の死因の第1位、2位を占め、社会的損失の大きい健康問題です。外傷の診療の質を評価し、向上させることは外傷による死亡率を低下させるために重要です。本研究では、外傷診療にかかわるデータを全国の医療施設（主に救命救急センター）から収集し、各医療施設の診療の質評価や診療行為の効果を評価するための分析を行います。施設ごとのデータを全国データと比較することにより、各施設の診療の現状を評価することが可能になり、診療の質向上に寄与することができます。さらに、集積されたデータを分析することにより、診療行為の効果や診断の精度を評価し、外傷診療システム全体の向上に寄与することが期待できます。

方法：

本研究の対象となるのは、全国の救急医療施設を受診され、重傷外傷を有する患者様です。個人を特定できる情報を除外した形で患者情報・データを登録します。登録はインターネットを用いた入力により行います。

研究期間：

2016年7月11日～2020年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：受傷原因、受傷時の血圧、心拍数、呼吸数、意識レベル、病院での処置・治療内容、入院日数、死亡の有無、等

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当施設の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

防衛医科大学校防衛医学研究センター外傷研究部門 齋藤 大蔵 ほか

日本外傷データバンク参加病院 264 施設

日本外傷データバンク公式ホームページ：<https://www.jtcr-jatec.org/traumabank/index.htm>

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

当施設研究責任者：手稲溪仁会病院 救命救急センター長 奈良 理

〒006-8555 札幌市手稲区前田1条12丁目1-40

TEL：011-681-8111（代表）

研究代表者：

防衛医科大学校防衛医学研究センター外傷研究部門 齋藤 大蔵